

令和5事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

令和5年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	9,944	9,835	△ 108	(注1)
施設整備費補助金	613	582	△ 31	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	465	1,200	735	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	13	13	—	
自己収入	26,422	28,354	1,932	
授業料、入学料及び検定料収入	3,614	3,680	66	(注4)
附属病院収入	22,606	24,335	1,729	(注5)
財産処分収入	7	—	△ 7	(注6)
雑収入	196	340	144	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,009	2,334	325	(注8)
引当金取崩	205	184	△ 22	(注9)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,262	1,888	626	(注10)
出資金	—	—	—	
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	40,934	44,391	3,457	
支出				
業務費	37,527	37,595	68	(注11)
教育研究経費	13,438	11,897	△ 1,541	
診療経費	24,089	25,698	1,609	
施設整備費	626	595	△ 31	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	135	885	750	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,009	2,174	164	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	634	632	△ 2	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	3	—	△ 3	(注16)
出資金	—	—	—	
計	40,934	41,881	947	
収入－支出	—	2,510	2,510	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたが、退職手当等の繰越により、予算額に比して決算額が108百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった計画変更等により、予算額に比して決算額が31百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が315百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が735百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、徴収対象者が増加したこと等の理由により、予算額に比して決算額が66百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、入院・外来の診療単価の増加及び手術件数の増等により、予算額に比して決算額が1,729百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、売却予定の土地の一部が売却できなかったため、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。
- (注7) 雑収入については、学校財産貸付料収入の増収等により、予算額に比して決算額が144百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の獲得に努めたことから予算額に比して決算額が325百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が22百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、計画の見直しを行ったため、予算額に比して決算額が626百万円多額となっています。
- (注11) 業務費については、令和5年度人事院勧告への準拠により人件費が増加したこと等により、予算額に比して決算額が68百万円多額となっています。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が31百万円少額となっています。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が750百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が164百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は670百万円となっています。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入利率の変更に伴い、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注16) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。